

◇京田辺市健康増進計画・食育推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果

パブリックコメント概要（結果）

- | | |
|-----------|------------------------------|
| （１）意見募集期間 | 平成２３年１２月２６日（月）～平成２４年１月２５日（水） |
| （２）意見募集方法 | 閲覧場所にある募集用紙、Ｅメール |
| （３）意見提出者 | ４名（ＦＡＸ１名、郵送２名、窓口持参１名） |
| （４）意見の数 | ８件 |

| 意見者 | 意見番号 | ご意見等 | 市の考え |
|-----|------|---|---|
| A | 1 | 市民の意識調査の中で文章には記載されているが、グラフになっていないものがある。(20 ページでやせの人で自分を標準体重と思う割合など) | 市民に依頼し行った意識調査の結果は、「京田辺市健康に関する市民意識調査結果報告書」に詳しく掲載していますが、本計画書に課題点や特徴点として掲げた事柄の全てについて、その根拠となる表やグラフを掲載することには限界があります。可能な限り根拠となるデータを掲載する意図で本計画書を編集しましたが、さらに編集方法を工夫します。 |
| | 2 | ライフステージごとのまとめ方は、自分の家族や将来についてイメージしやすくとてもよい。 | － |
| | 3 | 第4章 98～99 ページの内容は、第3章と同じことを言うことなのか。わかりにくいと思う。それならば、同じことを羅列するより、どこに記載しているかを表記するなり、整理して書くなど、もう少し工夫する必要があるのではないか。 | まとめ方を修正します。 |
| B | 4 | 日頃理解し心がけているつもりでも「実行の持続」となるとさだかでない・・・と思われることが詳細に解説されていてよいと思いました。意見としては、そこで記載しなくてもいいかもしれませんが、 ①学童期の低学年・中学年・高学年別で理想的な生活リズムの記載してみてもどうか。 Ex) 朝食 AM6:30、昼食(給食) PM12:30、夕食 PM6:30、そして帰宅から就寝までの過ごし方、就寝時刻、睡眠時間・・・帰宅してからのあつという間の時間ですが勉強の時間、読書の時間、テレビゲームの時間、自由な時間・・・明日に向けて子どもの心を整える大切な時間の過ごし方を紹介するものも一案かな。 | 55ページのトピックスに乳幼児期における理想的な生活リズムを掲載しています。 学童期においても低学年までは同様の生活リズムが理想的と考えられます。 学童期の中学年以降においても同様またはこの形にやや近い生活スタイルが理想と考えられますが、現実的には、習い事や塾通いなど、学童期においては、生活スタイルが多様化しているため、理想的な生活リズムを掲載せずに、55ページのトピックスに対象となるライフステージにかかる記事を追記しました。 学童期のライフステージの欄の「休養・こころの健康」の「家庭・地域の取組み」に新たに「家庭で共有できる時間をもちましよう。」についての取組みを追記します。 |
| | 5 | ②学童期の食生活、食育に関して親から子へ促す内容はしっかり記載されていると感じます。反対に子ども自らできることも紹介してみてもどうか。子どもができるおにぎり、子どもが積極的にキッチンに入ってきたときの親の心得。料理の準備をしていれば子どもの実習させながらも親も気持ちに余裕をもって楽しいキッチンになるなど親の心得など。 | ご意見のとおり、子どもの時期における体験は、からだの基礎をつくる上でも重要であると考えられます。親の心得等については、学童期「栄養・食生活」の「家庭・地域の取組み」に「お手伝いなどをとおして、食に関するさまざまな体験をさせましよう。」を追記します。 また、ご意見の内容を参考に事業を推進していきたいと考えます。 |

| 意見者 | 意見番号 | ご意見等 | 市の考え |
|-----|------|---|---|
| C | 6 | トピックスはなかなかおもしろい。 アルコールについて 54 ページはアルコールをすすめないようにしましょう。62 ページは飲酒をすすめないようにしましょう。また、アルコールをもっていたら・・・などとなっている。アルコールとお酒の使い方について統一しておくべきだ。 | 文言を「アルコール」「アルコール類」「飲酒」に区分し、計画書を修正します。 |
| | 7 | ライフステージは自分自身のこととしてみるにはわかりやすいが、冊子になっているとどのライフステージなのか見にくい。 | ヘッダーによる編集を行い、該当章と該当ライフステージのインデックスを作成します。 |
| D | 8 | 三山木（小）では、稲作体験を通し、収穫からおやつ作り（みたらしだんご）等、一連した食育体験を通して関わっています。学童期の計画の中に網羅されているところですが、もう少し具体的に記述し、たとえば、他の校区にも広げ、子どもたちが幼少期から思春期までつながった食育の取り組みを期待します。 | 次年度以降の農政担当課や教育委員会との連携した事業の中で、いただいたご意見を念頭に推進して行きたいと考えます。 |